

## 「行革甲子園 2018」エントリーシート

### 【取組の内容】

#### 1 取組事例名

有害鳥獣対策とNPO法人森の息吹を活用した獣肉の資源化による地域活性化

#### 2 取組期間

平成 25 年度～（継続中）

#### 3 取組概要

- ①有害鳥獣駆除対策
- ②有害獣解体処理施設運営（NPO法人森の息吹）
- ③猟友会育成
- ④鳥獣害防止対策

#### 4 背景・目的

本町は、総面積の 84%が山林原野に占められるなど、急峻な地形が多く、地理的にも鳥獣被害を受けやすい状況であるが、近年では、自然環境や生態系の変化に伴い、特に猿、鹿、猪等の有害鳥獣による農林水産物への被害が深刻な問題となっている。

このような有害鳥獣被害により、主たる産業である農林業の生産意欲が低下し、この課題を克服すべき対策を猟友会などと一体となって取り組むものである。

## 5 取組の具体的内容

### ① 有害鳥獣駆除対策事業

有害鳥獣の捕獲者に対し、報奨金を支払うほか、鳥獣被害対策実施隊等による駆除対策を実施する。

・駆除報償費 11,009 千円 (H29 実績)

※ イノシシ：367 頭、サル：22 頭、シカ：657 頭、ハクビシン：43 頭、タヌキ：83 頭、アナグマ：31 頭、カラス：15 羽

・鳥獣被害対策実施隊員報酬 112 千円

・鳥獣被害対策事業費補助金 6,800 千円

### ② 有害獣解体処理施設運営事業

捕獲した有害獣の適正処分及び獣肉を有効な資源として活用する解体処理施設の管理運営。

・有害獣解体処理施設指定管理料 (指定管理者：NPO法人森の息吹) 4,700 千円

### ③ 猟友会育成事業

猟友会の運営費や有害鳥獣捕獲従事者の育成を図るため、狩猟免許取得・登録に係る費用の補助を行う。

・猟友会補助金 274 千円

・有害鳥獣捕獲従事者支援事業補助金 378 千円

### ④ 鳥獣害防止対策事業

集落等が実施する金網柵設置に対して、資材費の補助を行う。

・鳥獣被害防止施設整備事業費補助金 1,115 千円

## 6 特徴 (独自性・新規性・工夫した点)

有害獣の個体数の減少だけでなく、これまで自家消費や埋設等で処理していた獣肉について、全国的なジビエブームを背景に良質な商品の開発にも取り組むなど、地域活性化対策として一石二鳥以上の成果を求めたものである。

## 7 取組の効果・費用

これまで自家消費や埋設等で処理していた獣肉を加工販売することで、地域資源として有効活用することができた。

各個人で処分していた残さが施設で処分可能となり、ハンターの手間の削減等にもつながり駆除意欲が向上し、駆除頭数も増加した。

## 8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

野生鳥獣による農作物等への被害が増加傾向にあり、直接的な被害金額のほか、農業者の営農意欲の低下は耕作放棄地の増加をもたらし、これが更なる鳥獣被害を招くという悪循環となっている。

人口減少、高齢化の進行に伴い、農地管理が十分でなく、加えて有害鳥獣捕獲隊の後継者対策等組織強化対策が重要となっている

被害防止のためには進入防止対策を推進するだけでなく、個体数削減を目的とした捕獲を積極的に行う必要があり、捕獲体制の整備とそれに伴う獣肉の有効活用が課題である。

## 9 今後の予定・構想

獣肉処理加工施設を起点とした地域振興を図り、「鳥獣害防止、獣肉の特産品化、地域振興」を目的とした取り組みを行う。

併せて、獣肉だけでなく革製品の加工・販売等も視野に入れ事業の拡大を図る。

## 10 他団体へのアドバイス

- ・町単独での取り組みではなく、近隣市町や関係団体等と一体となった施策の展開が不可欠である。
- ・ジビエ分は収入にはなるが、全体の一部分であり、処理施設の運営費用が必要である。

## 11 取組について記載したホームページ

NPO法人森の息吹 ホームページ <http://morinoibuki.net/>